

右の様なつまらぬ事を列記いたしましたが皆形式でございます、皮相でございます、が、この問題として最重要な忘れてならぬ内容、即精神は、真心得ございます。即真心から出た同情でございます。保姆の方でこれを忘れず家庭の人に接しましたならば、先方も人情のある以上は、いくら分らぬ人でございますも、相當な考をもつて保姆を信用いたします。この信用。これがくゝ最家庭

## 寒國の幼稚園

### 一 幼児の送迎

我が園にては通園に歩行困難なるか又は途中保護を要する幼児の便宜上積雪期は橇雪無き期は車を以て園児の送迎を致して居りますが、元來かゝる企てをした動機は當地は寒國で御座いますから毎年十月の終頃からそろゝ霰や霽は降り出して

から受取らねばならぬ、大切なものでございます、幼稚園と家庭の連絡は保姆が家庭から信用さるゝによつて萬事圓滿に且効力多く、解決がつくのであります。

つまらぬ事を長々と申しまして相濟ませぬ。

(編者曰。此の一篇は今夏幼稚園關係者大會に於て談話せらるゝ答にて時間の都合上中止せられしもの特に乞ひて本誌に掲載することせり)

青森幼稚園 保姆 今

お よ

道路は甚だ悪しくなり次第に雪となり降つては消え消えては又降り出す悪路は大人でさへ中々困難で御座います一月に入つてからは段々降つた雪は凍り次第に積り積つて地上高く固まりますから少し歩行は樂になります。毎日のやうな吹雪は是亦幼児の通行には容易の事で御座いませぬそれで毎

年十月十一月頃から三月の終り頃まで五六ヶ月の間休園又は退園するもの全園児の三分の一も出来ずので保育に張合がなく収入も減じ且つ幼児の家庭に於ては夏季ならば室外遊も出来従つて運動も充分で御座いますが冬季に於ては此の寒國にては室外遊びも出来ず室内に籠り暖爐や炬燵に寄りて間食のみ多く運動極めて不充分なるを以て健康を害ふ事甚だ大なるを悟りますと寒國に於ける冬季幼稚園は特更必要なるを唯通園の困難なるが爲めに其用を爲さざるとはいとも遺憾とするところで御座います、されば如何にもして此天候に打勝つべき方法もなきがなと思案の結果右の方法を案出したので御座います、初めは馬車にしたならばと思ひましたが費用は多くかゝつてとてもゆるしませんでしたに子供は軽いものだ割合に面積は要るものの重量に於ては大人の三四分の一しかない男一人の力で八九人十人位牽けるそして馬よりは人の力の方は静かで又意の如くなる子供を乗せるには

却つて適當だと氣が付きましたのでまあやつて見ませうと一昨年十二月普通の櫓（スキー）を二ヶ並べたる如き形のものに疊一疊大の箱を造り柱四本を立て上に屋根を張る但し屋根は亜鉛としました。

初めは一人の男を雇ひ一臺でして見ました成だけ費用の多くかゝらぬやにするため是ぞと仕事の無い人で安い賃金で雇はるゝ人を選びましたさうして一臺に七八人を乗せることゝし一人で二臺を受持たせました是れ雇人の都合と乗物設備の都合とを計つたので昇園の際も退下の際も二回に運ぶので御座います尤一回目と二回目との配當は豫め定め置きて朝一回目に來た組は退下の際にも一回目と致しますそして一回に來た子供も二回目と居残つた子供も一人の保母は付添ふて適宜に遊ばせます丁度一と月行つて見ました處が各家庭から子供供からも大いに歓迎せられ今迄休んで居つた子供も悦んで昇園するやうになり方々から希望者が

増してまゐりましたので更に一臺を増しました。それで例年多くの缺席児ありしにも係らず右の方法を行ひてより缺席は誠に尠うなりました。然るに昨年は近年稀なる薄雪で御座いましたので二月に入りましてからは早や雪は消えて泥道となり櫓はとも牽かれずさては車に替へんかと右櫓に用ゐし屋根箱を其まゝ据付けて實行せんとした處普通荷車に人を乗するは法の許さゝるところなれば警察署につきて其事情詳細を陳述せしに警察署に於ても幼稚園にて常置人夫をして便宜上送迎せしむると云ふのならば差支へなからうと黙許さるゝことになりました、さて一安心だと思つて見ましたが今度は危険でいけない等言ふ人も御座いました。が牽く人にも幼児にもよく注意して行ひました處何の故障もなくおだやかに行ふことが出来ました。

さて此の企は重に冬季に於ける便法としたるものなれど春季に至り道路樂になりましたも乗員希望してやむことは出来ません。其わけは當市は幼

稚園の數少く市の全部にわたり入園児希望者あるも遠路の爲、又は往復附添を要する等の爲め、入園を躊躇するもの多かりしに右の方法に依れば極めて便利且つ幼児も悦びて昇園を希望すとの事から春季に至りても相變らず行ふことになつたので御座ります、爲めに昨年度よりは入園希望者多く在園児の數を増しました特に新入園の爲めには誠に都合よろしいと申されます昨年秋より乗員又も増加しまして更に一臺と増して三臺とし三人の牽手人夫を雇ひ一人にて各二回づつ往復し總員五十名内外運びます、即ち櫓三臺車三臺を設備致しました。

各乗員幼児の家庭よりは人夫雇人の費用の爲として保育料外に積雪期は一ヶ月金五十錢道路よき時期は三四十錢を寄附として約付致させます但し春夏期は道路よく且つ幼児の身拵へも、輕裝故一臺に約十人も乗するを得べきも冬季は是に反し七八人定員のみならず人夫にも賃金を増すを以てか

く致したので御座います、幼児の家庭よりは可成費用の負擔を尠くせんため種々の方法を講じ賃金尠き人夫を雇入るゝには他の仕事と兼用出來得る者を雇入るゝに如かずとし、町の夜番人をして行はせ或は送迎の間の時間に於て他の賃仕事を爲し得るが如きものを以てせしめて居ります。

さて茲に一言申上げて置きますのは歩行通園容易なりと認むるものは乗車希望ありとも可成歩行を勵行し其亂用を避けて居ります、茲に面白い御話は市内の子供は大概幼き頃より社交に長けて居ると見え車の中でも大人して互に仲睦しく乗つて來ますが町はづれや市外よりの子供等は至つて粗野なる爲時々喧争を始め等しますがかくも違ふものかと牽手は笑ひますが併し何れも初めよりは次第々々に利口になり種々の談話や手遊びをなし或は唱歌をうたひ等して樂しさうに通ふやうになりました、地方の人々からは本園の新案だとか專賣特許だとか申されます、前申上げました通り初め

は冬季の便として行つたもので御座いました。が冬季のみならず夏季に於ても必要を多とせられ居ること御座いますから寒國のみならず降雪なき土地に於ても便法だと稱せられませうが、都の或る先生の御話には土一升金一升の價値ある土地に於て幼稚園を設立せんに理想の土地を得るに困難なる場合は市より離れたる閑靜なる土地に之を設ける方法によりて幼児を運ぶも極めて便利なるべしとの事で御座いましたから貴重なる誌上を拜借して廣く御紹介申上げました次第で御座います

## 二 冬季雪遊

當地方は殆年中の五ヶ月間は積雪期にして其間地上外遊出來ず降雪又日々の如き有様なるを以て屋内遊嬉のみ多きは當然なりされば偶々晴天の日は努めて郊外遊をなさんと盛に雪遊を催しますが其種類種々御座います、先づ雪合戦につき申上ますと是れは初め出た時は元氣よく戦ひますが固き玉の強く面部等に當りました時等は泣く子供はあ

つたりしますし實際大人でも堪え兼ねる程痛い事は御座いますからどうしても首尾よく終へる事は六づかしい事に思ひましたので一つ雪合戦の的を考へ作らせましたそれは、亜鉛にペンキを塗つた子供人形を色を別々として二個をつくり源平に分かれて戦ふので御座いますが玉は右人形的に命中しますと頭は後方に折れるやうにし折られても又直ちにたてることの出来るやうにしたので御座います。命が中せしめし方の組は頭部の落ちるとともに勝利の悦を叫ぶ様誠に勇ましく御座います。

右的のことにつきましては何れ又後回に詳しく申上ります。

次に雪は砂場以上子供の好物となります

籠、杓子、籠、櫛、等砂場用具一式其上陶器店より器物の除き物を極めて安價に求めて（種々なる形あり）共に興へ時に粘土板をも興ふることあり手の凍える時等はネル布にて作りたる手甲を備へ置きて用ゐさせかくして各兒は思ひ／＼に自己

の意に叶ひたる遊びをなし、或は筵の上に座す乍らするもあり傘立を上、下にして出せば砂箱形になるを以て此處にて立ち乍らするもあり、地上到る處銀世界なる積雪の上は屋根より下ろしたる雪の高くなりて山をなし屋上より高き處もあり或は坂をなし居る所もありて幼兒は唱歌をうたひ乍ら山の上り下りをするあり或はサーベルや雪籠にて土の見ゆるまでとて力まかせに穴を掘り其中に得たり顔に座するもあり、大なる玉を轉がし作るもあり墜道を作るもあり軒より太きツララを取り來りて金銀さんの寶物なりとて飾るもあり、實に無限の興味ある遊が出来ます、子供は風の子とが申しますが大人より寒さに堪ゆる時は御座います。それで、かゝる寒國でも冬季に於て晴天の日時々御座いましたなら雪無き地方の子供の年中地上遊のみするに比すれば子供にとりては天然物を相手に變化ある面白き遊びが出来ますので此の上もなき仕合で御座いますが本年は殊に晴天稀なりしを以て幼兒に満足を與ふること出来ませんでした。